

平成30年9月10日（月）

（午後2時35分 再開）

○議長（岡 弘悟君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番5、6番 小林君。

〔6番（小林 弘君）登壇〕

○6番（小林 弘君）皆さま、改めましてこんにちは。

議長のお許しをいただいたので、一般質問をさせていただきます。

発言の大きく1、来年10月からの幼保無償化予定に向けての調査と準備についてでございます。

来年10月から幼保無償化を実施する予定であるが、無償化で預けたいと思う人は増えると思いますので、以下の質問を行います。

①無償化による影響で、待機児童の予想は。

②待機児童が予想される場合の対処は。

大きく二つ目でございます。

移住・定住促進の取り組みについて。

①地域ナンバーワンをめざした本市の移住・定住の取り組みは。

②若者世代、子育て世代への移住促進について本市の魅力は。

よろしくお願ひ申し上げます。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君の質問項目1、幼保無償化予定に向けての調査と住民に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

〔健康福祉部長（吉田健司君）登壇〕

○健康福祉部長（吉田健司君）来年10月からの幼保無償化予定に向けての調査と準備についてお答えします。

まず、一点目の、無償化による待機児童の予想についてですが、現在、国が示している

幼児教育・保育の無償化については、平成31年10月から予定の消費税10%への増税のタイミングに合わせて全面実施される方針です。

無償化の対象世帯は、認可保育所や認定こども園への入所の場合、0歳児から2歳児までは市民税非課税世帯のみが対象となり、3歳児から5歳児までは幼稚園児を含む全世帯が対象になる予定です。

消費税増税という保護者の経済的・精神的な負担が発生するときに、幼児教育・保育の無償化という響きは子育て世帯の心理負担を大いに緩和することになります。

利用者負担額のハードルが一部なくなること、完全無償化の3歳児に至るまでに、すなわち、0歳児や1歳児のうちに保育園やこども園の入所枠を確保しておこうという保護者の心理は、これまで以上に膨らむことが考えられます。

そのために、近年、出生数は緩やかに減少しているものの、反面、待機児童は増加するものと予想しています。

次に、待機児童が予想される場合の対処についてですが、まず、受け入れ施設の入所枠の確保が重要となります。現在取り組んでいる公私連携方式による平成31年度開園予定の学文路さつきこども園、平成33年度開園予定の山田さつきこども園の整備計画を遅滞なく進めることで、0歳児、1歳児の受け皿を拡充できると考えています。

しかしながら、一方で、各園における保育士、幼稚園教諭等の十分な確保が課題となっています。受け入れる園児数により施設に必要な有資格者の職員数は国の基準で定められていますが、市内全域において保育士不足が園運営の悩みの一つになっている現状があり

ます。

市内の民設民営、公設民営の各園において、必要な職員数を前もって確保し、受け入れ態勢を整えるよう引き続き要請していきます。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君、再質問ありますか。

6番 小林君。

○6番（小林 弘君）どうもありがとうございました。

無償化が実現されようとしているんですけども、再質問させていただきます。

無償化が実現されると、どれぐらいの園児数が恩恵を被るのか、教えていただきたいと思います。

○議長（岡 弘悟君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）お答えします。

8月1日現在の試算ですけれども、全体で約1,870人の園児がおります。そのうち、今ももう無償化になっている方もおられるんですけども、来年10月にはこの中で約1,170人の園児が新たな無償化の対象となると試算しております。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）どうもありがとうございます。続きまして、また再質問させていただきます。

無償化が実現されると、どれぐらい市の歳入減となるのか、お教えてください。

○議長（岡 弘悟君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）これも8月でちょっと試算してあるんですけども、年間約1億9,200万円の減収となります。それに加えて、幼保連携型認定こども園の分が約6,000万円ありますので、市の歳入減としましては2億3,200万円程度になると思います。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）どうもありがとうございます。続けて質問させていただきます。

無償化に対しての予算面において、国からどれぐらいの補填があるのか、教えてください。

○議長（岡 弘悟君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）先ほど言いましたように、歳入減は約2億3,200万円ぐらいになると思います。このうち、今も、国2分の1、県4分の1、市4分の1という具合になりますと、今現在、市が負担していますのは約6,000万円から7,000万円ぐらいになります。県負担もあるんですけど、残りの分が国から入ってくるお金なんですけども、今、国が考えています消費税10%に向けての保育料無料化につきましては、市の負担分をどのぐらい補填してくれるというのはまだ決まっておられません。

ですので、国・県から入ってくるお金で最高で2億円、市の負担が6,000万円程度と考えていますけども、その6,000万円に対しても、多分、消費税に対しての恩恵はあると思いますので、今のところわかっておりますのはその程度でございます。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）あくまでも予定なのであれなんですけども、続けて質問させていただきます。

無償化とは支払う側からは無償化なんですけども、要するに公費負担していくわけですが、当然ながら財源はどうするかという疑問が出てくると思うんですけども、なら、消費税増税分を充当し、自治体の負担なく無償化を推進すべきと考えるんですけども、市としてのお考えをお聞かせください。

○議長（岡 弘悟君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）先ほども答えましたように、当然、消費税、7,900億円ぐら

いがこの保育料無償化に充てられるという予定ですので、市の負担も含めて全額補填されると予想しておりますけども。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）ちょっと、まだ予定なので、それに関しては、入れば全額補填するという答弁を先ほどいただいているので、それをもとに再質問をお願いします。

6番 小林君。

○6番（小林 弘君）済みません。あくまでも前提は来年がするやろうということなんで、なかなか市としてはこうやと言いくいんですね。そういうことですね。

ほな、財政難の本市が無償化により歳入減となり、公立園の運営やこども園整備計画に影響を及ぼすことはないのでしょうか。これやったら行けますか。よろしくをお願いします。

○議長（岡 弘悟君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）学文路地区と山田地区についてはもう既に計画が進んでおりまして、公私連携法人も決まっておりますので、予定どおり平成31年と平成33年4月の開園に向けて今もう計画に入っていますので、これについては計画どおりやっています。保護者説明会もやっていますので、これについては延長とかその辺は考えにくいところがあります。

その次に、紀見地区の整備を今考えておりますけども、これにつきましては、無償化については、先ほども言いましたように、市の負担がどれぐらいになるかというのはまだ決定しておりませんので、それも見きわめて考えていきたいと思っております。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ちょっとこの質問をするときに、来年の10月、増税に合わせてされるだろうということでテレビ等でもやっておりますので、質問させてもらうた。なかなかそれ

は、国が増税するときに、やらせてもらうと言うとるんやから、僕は絶対なるもんやと思うとるんで。ある程度、準備していかなあかんと思うので、ある程度の答えは欲しいなと思うてゐるんです。

続けて質問させていただきます。

園児が増えた場合の対策として、公設民営、民設民営へ引き続き保育士確保への要請を行うとの答弁やったと思うんですけども、具体的にどのようなことを行うのでしょうか。

○議長（岡 弘悟君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）今も具体的に、こども園については、職員、保育士の確保については要望しております。特に、0歳児とか途中で増えてきますので、それについて職員、保育士が増えないと、0歳児の受け入れができないということもあって、年度途中で職員の確保についてはPRしております。

それと、今、一番問題になっていますのは保育士の処遇改善になるんですけども、これについては国を中心に処遇改善が進んでおりまして、市としましてもできるだけ離職とかがないよう、保育士がせっかく確保できたのにやめないようということで、各こども園については、研修、それから離職の防止等についてPRしておりますし、これについては将来的にもそういうふうな要望はしていきたいと考えております。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）どうもありがとうございます。続けて質問させていただきます。

来る無償化の実施に伴い、潜在的な保育ニーズをほり起こすこととなれば、当然、受け皿の確保、保育士の確保とともに、施設整備においても必要になると考えます。将来を見据えて、学文路さつきこども園と山田さつきこども園の両整備計画だけでこれに対応できると考えていますか。どうでしょうか。

○議長（岡 弘悟君）小林議員、先ほど答えて、紀見地区に対して考えていくんですけども、それは今後、消費税の検討の結果、2次計画については考えていくという答弁をもう既にいただいていますので、同じことの重複になってしまいますので。

○6番（小林 弘君）これ、学文路とかそういうところでのことじゃなしに。

○議長（岡 弘悟君）学文路とさつきは予定どおり行っていくという答弁と、そのほかにおいては、紀見地区においては動向を見ながら2次計画のほうを見直していくと、そういう答弁をさつき答弁されていますので、多分同じ質問になってしまいますので。

○6番（小林 弘君）はい。そうしたら、その2次計画することでだいたい対応できるというお考えで受けとめらせてもよろしいですか。当然、無償化するということは今まで来ていない子どもらが当然来ますわ。

○議長（岡 弘悟君）人数の話ですか。

○6番（小林 弘君）そうなんですけど、人数も、人数もそうやし、施設それで対応できるかというのもあるんやけど、その2次計画でどういう形でされるんか知らんねんけど、橋本市って、こういう環境のええとこで何を売りにしていくんよと言うたら、待機児童を出さんようにしていかなんと思うんです。

来年のことやから時間あるんで、できるだけ待機児童ないようにしたっていただきたいんで、ちょっと同じ重複になるんやけども、頑張っていたきたいという、計画を練ってほしい。

○議長（岡 弘悟君）うん、行けますよ。人数等に関して、待機児童を出さないような施策は打ち出せるのかという。

○6番（小林 弘君）とにかく出さんように頑張っていたきたいので。さあ無償化になりました、待機児童出ましたじゃ、ちょっと

困るのかなと思いますので、そういう質問をさせてもろとんやけど。

○議長（岡 弘悟君）はい。答弁願います。健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）橋本市の場合は、年度当初は待機児童はおりませんけども、10月以降、0歳児を中心に待機児童は毎年出ております。平成29年度も0歳児で8名、それから、2歳児で1名の待機児童が出ておりました。これについては、施設を何ぼ整備しても、そのときの動向で、0歳児の入ってくるというのがなかなか読みにくいので、待機児童は出ませんよというのはなかなか言いにくい形になっています。

それと、学文路さつきこども園なんですけども、河南地区については今まで0歳児の受け皿がなかったんですけども、今回、来年から学文路さつきこども園ができますと、0歳児で6名、それから、1歳児で8名の受け入れ枠が単純に増加する形になります。これによりまして、全くなくなるとは言いませんけども、0歳児についてはかなりの受け皿が増えてくると思います。

その2年後に山田さつきこども園もできるんですけども、ここは岸上保育園がなくなるということで、ここは0歳児、1歳児もやっていたけども、それよりちょっと多くの0歳児、1歳児の受け皿はありますので、平成33年4月に山田さつきこども園ができれば、今の出生数から予定しても、待機児童についてはかなり減ってくるという考え方は持っております。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）とにかく、目標はもうとにかく待機児童を出さんというところで目標で頑張っていたきたいということでこの質問をさせてもろうとるんです。

この質問の流れで次の質問、また二つ目へ行くんですけど、それも橋本市の売りになるので、ちょっと、できるだけ頑張っていたきたいというか、橋本市は待機児童は出さんでというぐらいの勢いで行ってほしいなと思うて質問させてもろうとるので、すいませんけども。

続いて質問させてもらいます。

無償化の実施に伴い、潜在的な保育ニーズをほり起こすことになり、保育士の確保が重要との答弁がありましたけども、兵庫県の自治体では保育士への一時金や家賃補助などを実施し、保育士を誘致しているところもあると。全国的には保育士不足が報道される中、橋本市の対策をお聞かせいただきたいと思えます。

○議長（岡 弘悟君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）橋本市については、今のところ家賃補填とかその辺のことはやっているところはちょっと聞いておりません。

本市については、やっぱりその10月以降、保育士不足というのが出てきていますので、チラシを作成して、幼稚園免許更新制度の研修受講生を対象に、近隣の大学にPRしていくというのをこれからやっていきたいと考えております。

済みません、一点、訂正をお願いしたいんですけども、先ほど、歳入減で2億3,200万円と言いましたけども、実際には1億9,200万円ですので、よろしく願いいたします。

○議長（岡 弘悟君）小林議員、ご了承願えますか。

○6番（小林 弘君）はい。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）部長、ありがとうございます。

もう最後の再質問です、これは。無償化と

は利用者負担額のみが対象となるのか。保護者にとってメリットは大きいのでしょうか。

○議長（岡 弘悟君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（吉田健司君）今のところ、無償化の対象は利用者負担額のみとなっております。実質徴収とか特定負担額については保護者負担となります。それと、3歳から5歳児の教育時間児、1号認定の子どもについては、給食費は実費徴収になるかなど、今のところそう考えております。

それと、幼稚園児につきましては一部、預かり保育も今回、無償化の対象になるんですけども、上限額が決まっております、今のところ、公定価格の上限の2万5,700円が上限となっております。

そういうことで、特に保育園の3歳から5歳児につきましては、利用者負担のほとんどの部分が無償化となりますので、保護者についてははすごく経済的なメリットが大きいと考えております。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございました。本当に、大事な大事な、これからの将来を担っていくような子どもたちのために、消費税増税されたときに無償化ということで、ぜひとも待機児童のないように万全の体制を整えて無償化に向けて行っていただきたいと思えます。

これにて一つ目は終わります。

○議長（岡 弘悟君）次に、質問項目2、移住・定住促進の取り組みに対する答弁を求めます。

経済推進部長。

〔経済推進部長（笠原英治君）登壇〕

○経済推進部長（笠原英治君）移住・定住促進の取り組みについてお答えします。

平成28年度からシティセールス推進課に移住に関するワンストップ窓口を設置し、移住

相談やまち案内、空き家の紹介を実施するとともに、東京や大阪での移住相談会やフェアにおいて市のPRや新規移住検討者のほり起こしを行っています。

また、今年度は、移住検討者を対象に移住体験ツアーを行い、市内を案内するとともに、先輩移住者との交流を行うなど、市への移住サポートを実施しています。

次に、若者、子育て世代への移住を促進させるための本市の魅力としては、大阪都市部と比較し、自然が多く、認定こども園、子育て支援センター、各種教室や相談体制の充実など子育てしやすい環境であることや、犯罪件数や交通事故発生件数が全国・県平均と比較して低いなど、安全・安心なまちであること、大阪への通勤圏でありながら、住宅開発地のまち暮らしや山間部での田舎暮らしを選択できることなどが挙げられます。

まち案内をした方や移住された子育て世代の方も、自然が多い、子育てがしやすい、大阪に近いのが魅力であると、感想をいただいています。

若者世代、子育て世代への移住促進にあたり、こういった魅力をホームページや相談会、フェアなどで情報発信するとともに、新築住宅取得補助金やわかやま空き家バンク登録物件の賃貸または購入補助金や、住宅ローンの金利優遇などを実施し、若者世代や子育て世代の移住支援を行っています。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君、再質問ありますか。

6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

この移住・定住の質問をさせていただくにあたって、いつ頃でしたか、もう何カ月か前にテレビでやっておったんですけども、若者が住みたい田舎と、16万人もおるような市なので田舎というのはちょっとおかしいかな

と思うんですけど、テレビでやっていたのが、若者たちが住みたい田舎、人口16万2,000人でイチゴの名産の市なんですけども、2年連続1位になっておるといわけです。

移住増加のわけは、昔ながらの町並みと豊かな自然と、これは橋本市、負けてへんで、そこへ巴波川周辺、蔵の街。これ蔵はありませんけども、紀の川はありますと。都心に近いところからも通勤圏もすごい近い。南海高野線プラスJRが交差する抜群の立地だと思います。特急やったら、約、もう1時間切るんでしょうか。ここは新幹線1時間、特急で1時間30分ということですね。結構遠いです。

2015年4,600人、2016年4,900人、2017年5,300人、移住してきておるといの中で、全然、橋本市、これもっと都心というのか大阪府に近いし、いろんな手だてを打っていくと、まだまだもっと増やせるのかなと。今、500人ずつ人口減っていると思うんですけども、目標500人、移住・定住を目標にさせていただいて、ちょっと次の再質問をさせていただきます。

平成28年度に経済推進部内に定住促進係が設置されていますけども、移住・定住の取り組みに関して、主な成果を教えてくださいと思います。

○議長（岡 弘悟君）経済推進部長。

○経済推進部長（笠原英治君）今、議員のほうから、もっと移住を促進できるのではないかという、そういうおただしであるんですが、非常に、平成28年度に定住促進係が経済推進部にできてから、結構、右肩上がりに移住していただけておるといいます。

そこからの実績を申し上げますと、移住相談を通して移住された方は11世帯31名、そのうち子育て世帯が7世帯、結構その中でも多いです。転入夫婦の新築住宅取得補助金を利用された転入の方が323名、そのうち子どもが128名おります。移住相談の件数につきまして

は、平成28年度が83件、平成29年度が200件、平成30年度半ばですが、前年度比にして1.7倍のペースで相談が増えております。

そういう状況でございます。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）部長、ありがとうございます。

経済推進部内の定住促進係がもう非常に頑張っているというのがすごいわかりますので、引き続き取り組みを頑張らせていただきたいと思っております。

再質問です。

移住検討者に対し、まち案内していると聞きましたが、どのような案内をして魅力を伝えているのでしょうか。

○議長（岡 弘悟君）経済推進部長。

○経済推進部長（笠原英治君）各相談があった方に個別で案内させていただいたり、今年は団体でさせていただいたりしたわけなんです、主に橋本市の暮らしや生活イメージをしっかりと持ってもらうために、先ほどお話のありました、この橋本市の自然とか町並み、道路・鉄道などインフラの部分、そういった交通の部分であったり、スーパーや学校や病院など、ずっと国道24号とか国道371号を通りながら紹介していきます。

市内を一望できるくにぎ広場なんかにも行ってもらって、そこで新鮮な野菜がこれだけそろっているんですよという、そういうお話をさせてもらったり、その後、やっちゃん広場で買い物をしてもらったり、そういうこともしています。

あと、相談者に応じて、空き家の案内であったり、子どもがおられる方に関しては子育て支援センターであったり、住宅取得の補助金制度や、先ほど議員からもご質問いただいたんですけど、起業したいというような方に関しては起業の補助金なんかの説明もさせて

いただいております。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）部長、ありがとうございます。続けてちょっと、質問いきます。

空き家の話もあったと思うんですけども、空き家バンクでの登録件数の多いほうが、移住者にとっても選択肢が広がり、よいと思います。宅建業者でも空き家物件を紹介しているが、連携というのはどういう感じで行われているのか、ちょっと教えてください。

○議長（岡 弘悟君）経済推進部長。

○経済推進部長（笠原英治君）移住相談で空き家を探されている場合、まず、わかやま空き家バンクの物件を紹介していますが、何分、まだまだその登録物件が少ないので、市内の宅建業者を案内させていただいて、逆に宅建業者に対して、古民家とか田舎暮らし向きの物件があれば、市に情報提供いただいたりしております。

和歌山の空き家バンクのホームページには、民間物件、宅建協会が運営するホームページのバナーも張っておりますので、そういったサイトでも連携できるようになっております。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）宅建というのは民間なのであれなんですけども、民間の宅建業者が仲介する物件を空き家バンクへ登録してもらうことというのは無理な話なんですか。

○議長（岡 弘悟君）経済推進部長。

○経済推進部長（笠原英治君）非常にそこが私どもの悩みの一つでもあるんですけども、和歌山県の空き家バンクというのは、民間が扱わないような物件であったり、和歌山県の過疎地域に指定されている町で宅建業者が不在の町、そういったところの空き家を流通させるという、そういう制度でありますので、残念ながら、民間が扱う、宅建業者が仲介する物件については、このわかやま空き家バンクに

登録できないことになっております。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）部長、ありがとうございます。なかなか相互的に行かれへんというのはルー的にあると思うんですけども、続けて質問します。

所有者にとっても、わかやま空き家バンクと宅建業者のを利用するのが利用者が見つかってよいと、これは栃木市も空き家バンクの物件を見ることによって移住される方が増えておる。いい物件がたくさんあるんでしょうね、栃木市の空き家バンクにおいては。そういうのを本当に一緒に登録していただければありがたいかなと思います。

続けてまた質問させていただきたいと思うんですけども、先日、テレビの番組を私見て、栃木市のことを見て思ったのが、コメンテーターの方が、通勤の電車の中にフリーWi-Fiをつけていただいたり、すると、若い方というのは仕事に行くのに少々距離があっても、フリーWi-Fiを使っている動画をしながら苦にならんと勤めていただけるというような話を言うてはったので、そういうのって、市のほうから、今、南海高野線ってあるのかないかちょっとわからないですけども、そういうのをお願いしたりしていただくことはできるのか、可能なのか。高野線であんまりフリーWi-Fiってあるのかないか、ないと思うんですけど、ちょっとわからないです。ちょっとそんなところを教えてください。

○議長（岡 弘悟君）経済推進部長。

○経済推進部長（笠原英治君）南海高野線の要所要所の駅にはフリーWi-Fiを使える駅もあるんですが、電車に乗りながらずっと通過していきますと、エリアの関係で電波が届かない。そういう状況の中で南海高野線の電車にはこのフリーWi-Fiが使えるよう

な整備はできておらないようです。

ただ、同じ南海電鉄であっても本線のほう、ラピートにはそれがついておるようです。これ多分、関西空港との関係で、外国人が訪日されたときに、できるだけ情報をとれるような形をすることによって、外国人の誘客、乗車を推進していこうという、そういうつもりでラピートにはついておると思うんですけど、今後、南海電鉄に対して、高野線の特急なんかを新しく入れられる場合は、このフリーWi-Fiが使えるような状況にさせていただけるように、市としても要望してまいりたいと思います。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）どうもありがとうございます。ラピートはついておるんやけど、南海高野線の特急なんかはないということ。

難波の駅から世界遺産の高野山、もうすばらしい、ミシュランガイドだったんかな、高野山行くべきやという、なっとるはずなので、ぜひとも高野へ上がる特急なんかに関してはフリーWi-Fiをどうかつけてくださいとお願いするしかないと思うんですけど、これは民間に対してなんでね。

そういうのも橋本市へ来る人、橋本市を通過する、もしくは橋本市へこれから住まれて通勤する方に対しても、うちの特急にはフリーWi-Fiがついとるんやというような、これはまた、住んでくれた方もしくは今住んでおる方がよそへ行ったときに、また宣伝してくると思うので、ぜひとも南海電鉄にちょっと要望していただいて、実現できるようにしていただきたいと思います。

続きまして、また再質問させていただきます。

栃木市では、栃木市ばかり言うるとるんやけども、住宅取得補助金以外にも、通勤・通学補助が実施されています。恐らく移住・定住について他市でもいろいろな補助制度で移



住促進を行っていると思います。

もう財源が限られている中で、いろんな補助金を実施することはなかなか今の財政状況の中で橋本市もしんどいと思いますけども、他市と比較検証しながら実施していただきたいと思います。

これで僕、ちょっと質問したいことをもう全部しゃべってしまつたので、もうあれなんですけども、とにかく500人、人口減少しておる中で、もう1人でも2人でも橋本市に住んでいただいて、減少に歯どめをかけていくという、これはもう市としての大きな課題と思いますので、これからも経済推進部の定住促

進係に頑張っていただいて、1組でも2組でも橋本市に住んでいただけるように、いろんな他市の、お金かかれへんでもこんなええことやととるよとか、どんどんアンテナ上げてもらって、できるだけ人口減少に歯どめをかけていただきたいと思ひまして、私の質問のほうを終わらせていただきます。

○議長（岡 弘悟君）6番 小林君の一般質問は終わりました。

この際、午後3時25分まで休憩いたします。

（午後3時13分 休憩）